

17:1 また、七つの鉢を持つ七人の御使いの一人が来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。大水の上に座している大淫婦に対するさばきを見せましょう。

17:2 地の王たちは、この女と淫らなことを行い、地に住む人々は、この女の淫行のぶどう酒に酔いました。」

17:3 それから、御使いは私を御霊によって荒野へ連れて行った。私は、一人の女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神を冒瀆する名で満ちていて、七つの頭と十本の角を持っていた。

17:4 その女は紫と緋色の衣をまとい、金と宝石と真珠で身を飾り、忌まわしいものと、自らの淫行の汚れで満ちた金の杯を手に持っていた。

17:5 その額には、意味の秘められた名、「大バビロン、淫婦たちと地上の忌まわしいものの母」という名が記されていた。

17:6 私は、この女が聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見て、非常に驚いた。

「大淫婦」とは、「神を冒瀆する名」の獣に乗っており、「淫らなことを」を行わせる偶像礼拝者であり、また「聖徒たちの血に酔う」ような迫害者でもあります。まさにサタンとその悪霊の具現化したものですが、その現実はこの世の現象と実際に関わっているのが分ります。

「地の王たち」というように、この世の権力たちと結びつき影響を与え、「金と宝石と真珠」のように経済力と結びついているのが分ります。さらには「大バビロン」というように、固有名詞で表わされる実在の地に拠点を置いているのです。

このように神に逆らう勢力は現実のものであるこ

とを知りましょう。それは決して概念や空想ではないのです。そのさばきは神様が終りの日に決行されますが、私たちは愛と聖書のことばによって、霊の戦いをしてゆくのです。この世と結託するサタンの働きに敏感でありつつも、神様の愛によって救いを勝ち取りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

